

4-5

主題	自分のトランス見たことありますか？
----	-------------------

トランス勉強会

副題	～ビデオを使ったトランス勉強会～
----	------------------

研究期間	12ヶ月
------	------

事業所	台東区立特別養護老人ホーム三ノ輪
-----	------------------

発表者：代表者 守屋 直美

共同研究者：金子 ゆみ子、石原 祥子

電 話	03-5603-2231
-----	--------------

メール	t-mino@bz03.plala.or.jp
-----	-------------------------

FAX	03-5603-2232
-----	--------------

URL	minowa-welfare.web.infoseek.co.jp
-----	-----------------------------------

今回発表の 事業所や サービスの 紹介	台東区社会福祉事業団が母体である特別養護老人ホーム三ノ輪では、「入居者・利用者の満足の追求」「施設の発展性と安定性の追求」「職員がやりがいのある職場環境の追求」の3つを経営理念の根幹として、サービスの向上に努めている。
------------------------------	---

《研究前の状況と課題》

事故報告書の中にトランスファー介助（以下トランス）が原因と思われる事故が1年間を通して約1割を占めていた。予想していた割合よりは低かったものの、自分たちの不安を解消していきたいという思いがあった。トランスは基本なことであり毎日行われることであるため、今さら人に聞けない、我流になっている現状が多くあったことをふまえ企画することになる。

《研究の目標と期待する成果》

まず、自分のトランスのやり方を知り、他職員のトランスを見ること、そしてPTにアドバイスをもらうことにより、入居者にとっても介助職員にとっても安全で負担が少ないトランスを期待して取り組んだ。

《具体的な取り組みの内容》

- ・対象者はトランスを必要とする入居者
- ・勉強会参加者はトランスを行う職員、アルバイト、派遣全員対象
- ・各フロアで「トランス現状調査表」を作成し、自分は誰のトランスに不安を感じていたり、勉強したいと思うかをチェックしてもらう
- ・毎週水曜（PTのある日）13時半から14時半（PTが個別にベッドにまわる時間を活用）の間で実施
- ・トランス勉強会参加者は→ビデオ撮影者（基本は当日リハビリについた者）、トランス対象入居者、トランス実施職員（介助者）、PTとなる
- ・用意するものとして、ビデオカメラ 撮影後PCへコピーし誰でも閲覧できる状態にする
- ・のちにPCで映像確認（自分、他職員）し、振り返る

《取り組みの結果と評価》

他職員のトランスを意識して見る機会、そして自分のトランスを見ることにより、日々慣れてしまった援助技術を見直すことができる取り組みであった。

《まとめ》

前年度に引き続き今年度も取り組みを開始した。何よりもまず継続することが大切であり、少しずつでも介助者一人一人の意識づけにつながればと思っている。

また、新しく入ってきた職員に対しても雰囲気をつかんでもらいやすい（映像をとおして）。

《提案と発信》

どんどん色々なことに取り組んでいかなければいけないと思うところではあるが、基本をおさえていなければ、よいものにつながっていかない。まずは、少し立ち止まって振り返ることも大切である。

【メモ欄】